

## ●十条のまちと人

東京・北区十条と出合って、早一年。まだまだ新参者の私だが、あの街の魅力は多面的で奥深い。

都市整備に携わる者としては、鉄道立体化の動き、防災まちづくりの取り組み、都市計画道路の整備など、これからもどのように街が変化していくのか楽しみだ。また、生活者として、もしあの街で暮らすとしたら、やっぱり一番の魅力は商店街だろう。アーケードのある『十条銀座商店街』は雨の日も風の日も歩きやすく快適だ。いつも賑わっている元気な商店街として有名だ。一方、十条駅の東側の『演芸場通り商店街』は、ヒューマンスケールな道の狭さがいい。人にやさしい昭和の雰囲気を醸し出している。

ここでひとつ十条に提案するならば、もう少し街に緑を増やせないか。歩いていると空地・空家をちらほら見かける。一般的に密集市街地では接道条件から建替困難な敷地が多く、隣地との共同建替えも合意形成に時間がかかることから、長期間の空地・空家が発生していると聞く。公的主体が公園・緑地として買い上げるのは、今の時代財政上難しいので、例えば、市民緑地制度の要件（都市計画区域内の300㎡以上の土地等が対象、所有者と公共団体などとの契約期間は5年以上など）や税の優遇措置を緩和して、密集市街地においても民間・個人が使い勝手のいい制度になれば、管理された民間緑地ができるのではないかと。密集市街地での一時集合場所、風の通り抜ける道などになってくれればいい。

最後に、十条の「人」がいい。この最初の一年間、十条に関係して出会った人がみんな明るく温かい方たちだったので、さらに街の印象を良くしてくれた。駅近くのS酒場で声をかけられたおじいさんは御歳82才で、わざわざ浦和から50年以上毎日十条に通っていると言っていた。

文責者：田辺陽子（UR都市機構）  
紹介者：高尾利文（第二計画部）

## ●カーシェアリングの動向

技術の進歩や道路運送法での対応により無人貸し出しシステムが可能となり、レンタカーとは違ったサービスが確立されている。カーシェアリングの会員数は2010年1月時点で約16,000人であり、過去5年間で10倍以上に増加している。それでも、欧米のカーシェアリング先進国に比べると普及率は低い。

都民1,000人を対象に実施したアンケートによると、若年層の車離れ傾向を反映してか、カーシェアリングの利用意向は高く、かつ車を所有しないでカーシェアリングを利用したいという意向の方が多い。料金の一例としては月額基本料金1,000円、15分あたり300円の利用料金で運用している会社があり、リーズナブルと言える。また、事業者側の立場で試算すると、駐車場賃料の高い都内においては、1日平均数時間の利用があれば黒字になるようなビジネスモデルになっている。

今後も電気自動車の導入等により、カーシェアリングはさらなる発展が期待される。当社では、平成21年度に財団法人東京都道路整備保全公社の公募研究のスキームを活用し、「カーシェアリングにおける駐車場活用方策に関する研究」を実施した。詳しくは、以下のホームページを参照されたい。

<http://www.tmpc.or.jp/contents/parking/05.html#Anchor-6298>

内山 征（第二計画部）

発行責任者：代表取締役 庄山 高司  
事務局：株式会社アルメック 業務部  
東京都目黒区青葉台 1-19-14  
電話 03-5489-3211・FAX 03-5489-3210  
Eメール hotnews@almecc.co.jp  
ホームページ <http://www.almecc.co.jp/>